



# 農作業メモ

## ねぎの梅雨時の管理

ねぎは乾燥に非常に強い一方、土壌の水分過多には弱い野菜です。特に30℃以上の気温と過湿が重なると、急に軟腐病等の病害が広がる可能性があります。以下の対策を講じて、品質の良いねぎを生産しましょう。

また、気温と湿度が高い季節ですので、農作業中の熱中症に注意しましょう。

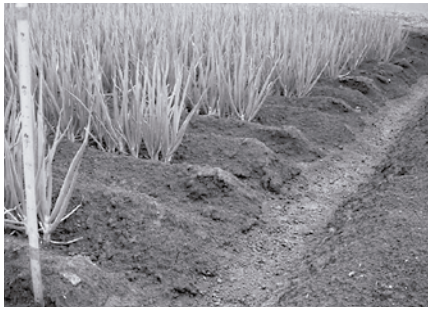
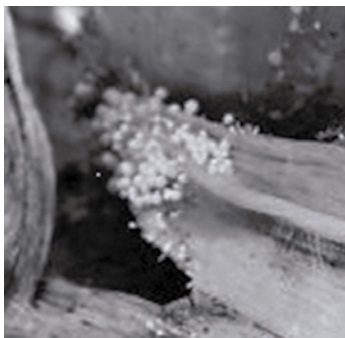


写真1 明きよ設置事例



▲写真2 軟腐病発生ほ場  
◀写真3 白絹病の菌核

写真2, 3: 埼玉県病害虫防除所提供

### 1 排水対策

〜明渠を設置しましょう!〜

梅雨の長雨や雷雨等により、ほ場の水がたまったり、土壌が過湿になりやすい季節です。

ほ場周囲からの流入防止や畝間にたまった雨水の排水のため、定植したら、早めに明きよを掘って、水が排水路

### 2 病害対策

〜早めの防除で欠株防止〜

に落ちるようにしておきましょう(写真1)。

#### (1) 軟腐病

土壌中の病原菌(細菌)が降雨等により土と共に跳ね上がり、傷口から侵入して感染します。ねぎのとりけた部分の悪臭と雨後に急速に広がるのが特徴です(写真2)。

#### (2) 白絹病

ほ場のところどころにスポット状に生育の悪い部分ができ、その株元を見ると地際部に白い絹糸状の菌糸と淡褐色の粟粒状の菌核が見られます。生育の悪いねぎの株元を観察し、発生初期に防除を開始しましょう(写真3)。

表 防除薬剤例

薬剤名	適用病害	希釈倍数・使用量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
オリゼメート粒剤	軟腐病	6kg/10a	株元散布	土寄せ時(但し、収穫30日前まで)	2回以内
カスミンボルドー	軟腐病	1000倍	散布	収穫14日前まで	2回以内
アフエットフロアブル	白絹病	1000~2000倍	1㎡あたり1L株元灌注	生育期(但し、収穫14日前まで)	2回以内
ロブラール水和剤	白絹病	500~1000倍	1㎡あたり1L株元灌注	収穫14日前まで	3回以内

記載農業は平成27年5月1日現在の登録状況に基づいています

農業を使用する際は必ず使用農薬のラベルを確認しましょう。